



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 小松精練株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3580 URL <http://www.komatsuseiren.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 早瀬 智 (TEL) 0761-55-8000
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	9,589	8.0	631	27.5	785	15.9	574	20.0
30年3月期第1四半期	8,882	△0.7	495	49.0	677	57.3	478	54.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 97百万円(△83.1%) 30年3月期第1四半期 573百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	13.38	—
30年3月期第1四半期	11.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	48,095	35,243	73.0	817.47
30年3月期	47,794	35,490	74.0	823.14

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 35,107百万円 30年3月期 35,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	1.9	1,000	5.6	1,300	1.9	950	3.2	22.12
通期	40,000	3.4	2,300	6.9	2,900	3.4	2,200	3.0	51.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	43,140,999株	30年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	194,338株	30年3月期	194,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	42,946,668株	30年3月期1Q	42,947,316株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が引き続き堅調に推移するなか、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しが見られ、全体として回復基調が継続する一方、海外情勢については欧米やアジアの政治動向、米国での金利上昇などによる世界経済の減速リスクなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループでは高度化並びに多様化する市場の要望に対応するため、品質向上を第一とし、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させてまいりました。また、海外企業との提携を含め、海外市場の拡大を積極的に進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,589百万円（前年同期比8.0%増）となり、営業利益は631百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益は785百万円（前年同期比15.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は574百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門は、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも海外向けファッション分野、海外向けスポーツ・機能分野については順調に拡大し増収となる一方、中東向け民族衣装は市場動向により減収となりました。国内向けは総じて厳しい市場環境にあるなか、スポーツ・機能分野が海外同様に順調に推移し、当部門全体は増収となりました。

資材ファブリック部門は、車輻内装材が減少となる一方、生活関連資材分野においては機能材料を中心に順調に増加し、リビング分野についても概ね計画通りに推移しました。また、医療・福祉のメディカル分野が大幅に増加し、電材関係も順調に拡大したことから、当部門全体は増収となりました。

製品部門は、計画通り堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は9,424百万円となりました。

(物流物販事業)

物流並びに物販分野は前年同期比で微減となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は165百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、48,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ300百万円増加しました。これは投資有価証券が450百万円減少したものの、現金及び預金が330百万円、商品及び製品が299百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、12,852百万円となり、前連結会計年度末に比べ548百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が359百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、35,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円減少しました。これは主に利益剰余金が230百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金433百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,324	5,654
受取手形及び売掛金	8,876	8,536
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	1,670	1,969
仕掛品	822	836
原材料及び貯蔵品	1,790	1,964
その他	173	138
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	20,126	20,573
固定資産		
有形固定資産	8,403	8,409
無形固定資産	363	383
投資その他の資産		
投資有価証券	17,770	17,319
繰延税金資産	584	857
その他	547	554
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	18,900	18,729
固定資産合計	27,667	27,522
資産合計	47,794	48,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,476	5,836
未払法人税等	474	332
賞与引当金	526	291
その他の引当金	13	0
その他	1,308	1,930
流動負債合計	7,800	8,390
固定負債		
役員退職慰労引当金	494	494
退職給付に係る負債	3,750	3,726
その他	258	239
固定負債合計	4,504	4,461
負債合計	12,304	12,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,701	4,701
利益剰余金	23,816	24,047
自己株式	△79	△79
株主資本合計	33,119	33,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,959	1,526
為替換算調整勘定	247	207
退職給付に係る調整累計額	24	23
その他の包括利益累計額合計	2,231	1,757
非支配株主持分	139	135
純資産合計	35,490	35,243
負債純資産合計	47,794	48,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	8,882	9,589
売上原価	6,917	7,424
売上総利益	1,964	2,165
販売費及び一般管理費	1,469	1,533
営業利益	495	631
営業外収益		
受取配当金	62	68
持分法による投資利益	71	76
為替差益	10	—
その他	50	41
営業外収益合計	194	186
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	27
為替予約評価損	7	0
その他	3	4
営業外費用合計	11	32
経常利益	677	785
特別利益		
固定資産売却益	2	—
国庫補助金	48	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	2
固定資産圧縮損	48	—
災害損失	—	3
特別損失合計	49	6
税金等調整前四半期純利益	680	779
法人税、住民税及び事業税	267	287
法人税等調整額	△56	△82
法人税等合計	211	205
四半期純利益	469	574
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	478	574

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	469	574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	△433
為替換算調整勘定	△76	△42
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	103	△477
四半期包括利益	573	97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589	100
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,567	314	8,882	—	8,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	452	475	△475	—
計	8,590	766	9,357	△475	8,882
セグメント利益	470	23	494	1	495

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,424	165	9,589	—	9,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	474	483	△483	—
計	9,432	640	10,072	△483	9,589
セグメント利益	598	20	618	13	631

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。